



『生活リズム』乱れていませんか？

長い夏休みが終わり、なかなか会えなかったお友達と久しぶりに会えて、嬉しいです。インフルエンザも流行しつつあります。みんなで、元気に登校できるように、睡眠・栄養・休養をしっかりとって、生活リズムを整えていきましょう。そろそろ夏の疲れも出てくる時期です。残暑に負けずに、楽しい2学期にしましょうね。



給食センターよりお知らせです



給食センターは第二調理場・石川学校給食センターの2調理場が統合して、新しく『石川調理場』になりました。夏休み期間中に引っ越しし、落成式も無事に終わり、2学期の準備をしてきました。これからは、小学校(10校)・中学校(2校)

合計 7530 食の給食を作って配送します。

☆センター長・・・1名 ☆事務・・・2名

☆栄養士・・・3名 ☆委託栄養士・・・1名

☆委託調理員・・・60名

この人数で、これからも『安心安全で美味しい給食』を作っていきます。



9月27日は「海から豚がやってきた記念日」です。

第二次世界大戦中、地上戦が行われた沖縄は壊滅的な被害を受け、土地も荒れ果てていました。戦後はたくさんの人が食べるものがない苦しい生活を送っていて、沖縄の食生活に欠かせない豚は、戦前は10万頭以上いましたが、戦後は7,731頭まで激減していました。そのような惨状が、ハワイに移り住んだウチナーンチュにも伝わりました。故郷である沖縄が助けを必要としている!沖縄をどうにか支援できないか!と考えたハワイのウチナーンチュが、生きた豚を送ってふるさとの復興を支援しようと考えました。現金集めに奔走し、5万ドル(当時の沖縄の公務員の月給が25ドル)もの寄付が集まり、550頭の豚を購入することができました。そしていよいよ船に豚を乗せ、沖縄に向かいます。暴風や高波に襲われ、命がけの航海となりました。出航から28日目の9月27日、ついにうるま市勝連平敷屋のホワイトビーチにたどり着くことができました。ハワイから届けられた豚は4年後には10万頭になり、戦後の沖縄の復興に大きく貢献しました。豚肉が食卓にのぼることは、この時のハワイからの豚のおかげです。給食では9月27日の「海から豚がやってきた記念日」にあわせ豚肉を使った料理が登場します。私たちの食生活がたくさんの人に支えられていることを忘れずにいたいの

ですね。

